

プロジェクト06 滞在プログラムの充実

立山黒部貫光(株)

(1) 第1回 ワーキンググループ以降の取り組み

- ・8月17日 打合せ(自然保護課、観光戦略室)
主な内容:ガイド事業者へのサポート体制 他
- ・8月18日 ヒアリング(立山山荘協同組合)
主な内容:ガイドツアー 他
- ・8月18日 打合せ(立山自然保護官、自然保護課)
主な内容:ガイドツアー 他
- ・8月29日 打合せ(立山自然保護官、自然保護課)
主な内容:ガイドツアー 他
- ・8月30日 ヒアリング(ガイド事業者、立山自然保護官、自然保護課)
- ・8月31日 ヒアリング(ガイド事業者、立山自然保護官、自然保護課)
- ・9月15日 打合せ(自然保護課)



(スケジュールイメージ)

H29. 6

H30. 4



検討・調整・システムの開発

可能なプログラムから順次実施

(2) 現状(主なヒアリングから)

- ・滞在プログラムが散在している(まとまったサイトがない)。
- ・案内スタッフが少なく、ガイドツアーのバリエーションが少ない。
- ・滞在プログラムのモニターツアーを実施して活動の認知度を高めたい。
- ・案内スタッフ同志(山岳ガイド、エコツアースタッフ、ジオ 等)の情報交換の場が欲しい。 等

(3) 検討項目

<平成29年度に実施予定の項目>

1. ポータルサイトの開設

例:「立山ガイドツアー(仮称)」の認知度を高めるため、ポータルサイト(立山のガイド及び、ガイドツアーの総合サイト)を開設。

例:利用者が手軽にツアー予約ができるよう、案内スタッフやツアー内容等を大系化し、「閲覧から申込み、精算まで」分かりやすい流れを作る。

例:認知度を高めるために、サイトのリンク先等を工夫する。

※ 立山黒部アルペンルート公式サイト(平成28年 年間 ユーザー262万、PV2442万)、体験ツアーのメディアサイト、山小屋等の宿泊施設とのリンク等

※ モニターツアーの実施(SNSによる拡散を図る 等)

例:最小催行人員に満たなくても企画したツアーは実施(催行保証)する。 等

2. 関係者連絡会議の開催

例:案内スタッフ(山岳ガイド、エコツアースタッフ、ジオ 等)の情報交換の場を設け、スタッフのレベルアップを図る。

3. 先進地・成功事例地域の視察

4. 研修会の開催

例:ガイドの方を対象に講師を招いた研修を開催(傷病人の対応、火山噴火からの避難誘導 など)も検討)

例:通訳案内士を対象としたガイド研修を開催

<今後の検討を進める項目>

1. 滞在プログラムのバリエーションを増やす。

例:実施時期やテーマを指定したツアーの造成

例:案内ガイド各々の得意とする分野(自然、歴史、文化)のツアーの造成

例:山小屋、博物館(立山博物館、立山カルデラ砂防博物館、立山自然保護センター)を組み込んだツアーの造成 等

2. ツアーデスクを設置し、当日参加ができるツアーの案内 等

3. ガイドが活動・参入しやすい環境整備

例:案内スタッフのアルペンルートの乗り物運賃減免、ツアーの優先乗車の仕組みづくり(貸し切り 等)

(4) スケジュール

10月を目途にH30年度の取組みを決定⇒4月からの開始に向け準備
※可能な取組みから順次実施